

～江別第一小学校食育だより～

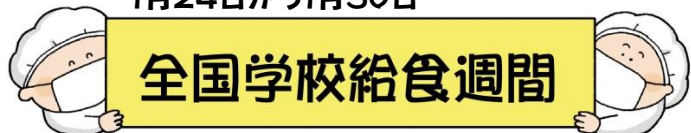
たべっこ



令和8年1月19日発行
栄養教諭 三好

昔から「一月往ぬる二月逃げる三月去る」と言われてきたように、年度末に向けて月日が流れるのを早く感じる時期です。寒さが増し、風邪やインフルエンザにかかりやすい季節でもあります。早寝・早起き・朝ごはんを心がけて、1日1日を大切に過ごして欲しいと思います。

1月24日から1月30日



全国学校給食週間

全国学校給食週間は、学校給食の意義や役割についての理解を深めて、関心を高めるための1週間です。

山形県忠愛小学校



明治22年の給食



①日本の学校給食は、明治22年に山形県の私立忠愛小学校で、貧しくて昼食を用意できない子ども達のために無償で提供されたのが始まりと言われています。

②献立は、おにぎり、塩さけ、菜の漬物でした。

③みんな、大喜びで食べたそうです。その後学校給食は、日本中に広がっていきました。

すいとんのみそ汁



昭和20年頃の給食



現在の給食



④今から80年ほど前、太平洋戦争がはじまりました。全国的に食べる物がなくなってしまい、給食を続けることが難しくなりました。給食があっても、メニューは1つだけになってしまうこともありました。

⑤戦後は、食料がありませんでした。栄養不足の子ども達を救うため、アメリカやユニセフなどから食料の寄贈を受けて、給食が再開されました。

⑥現在の給食は、栄養バランスのよい食事で成長期にある子ども達の健やかな成長を支え、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるために重要な役割を果たしています。



給食の思い出を聞かせてください

庄校長先生



当時の牛乳はビン牛乳でした。ふたを集めて休み時間にみんなで遊ぶのが楽しかったです。メニューで「クローヨー」って知っていますか？札幌の給食ではなぜか酢豚のことをクローヨーと呼んでいました。これに入っている人参とパイナップルが嫌いで……。必死に食べていました。（今ではどちらも食べられます。大人になると味覚が変わるのです！）

